



心ひとつに

校訓「心ひとつに 明日を拓く」
教育目標「気づき、考え、行動する生徒の育成」

美郷町立美郷中学校
令和6年9月13日
文責：校長



* 本校ホームページ→



キャリア教育・ふるさと教育

学校教育では、「社会人として自立した人を育てる観点」から、次のようなことが求められています。

- ・学校の学習と社会とを関連付けた教育
- ・生涯にわたって学び続ける意欲の向上
- ・社会人としての基礎的資質・能力の育成
- ・自然体験，社会体験等の充実
- ・発達に応じた指導の継続性
- ・家庭・地域と連携した教育



そして、これらは全て「キャリア教育」や「ふるさと教育」の推進へとつながります。先週、本校では、全学年とともにこれらの推進に関わる体験学習を多く行ってきました。3年生は関東方面への修学旅行、2年生は横手市でのフィールドワークと町内での職場訪問・体験(34事業所)、1年生は町内フィールド

ワーク、さらに、「ほんもの講座(わらび座観劇)」でのミュージカル鑑賞(1・2年生)など、学校の外に学びの場を移して、学校の学びと社会を関連付けたり、多様な体験活動をとおして視野を広げたりすることをめざしてきました。(写真は1年生→2年生→3年生)

活動に向けて事前学習を行い、計画を立てたり、受け入れ先と交渉をしたりするなど、事前準備にも入念に取り組んできました。これを通して、目的達成に向けて仲間と協力することの大切さや、社会の一員としてのルールやマナーの必要性を実感することもできました。

生徒指導の充実



10日に秋田県教育庁南教育事務所の〇〇〇〇指導主事を迎え、生徒指導に関わる校内研究会を行いました。本校は、「生徒指導」を学校経営の中核に置いています。「生徒指導」というと問題行動への対応とわれがちですが、そうではなく、生徒が自発的・主体的に自らを高めていけるように、一人一人のよさや個性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えることを意味しています。本校は授業でも「生徒指導の実践上の視点(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な居場所づくり)を生かした授業づくり」に取り組んでいます。〇〇指導主事には、本校の生徒指導の取組状況を説明するとともに、全学級の授業参観後、全職員による生徒指導上の課題解決に向けた研修もご覧いただきました。〇〇指導主事からは、個に応じた指導が行われ、温かい人間関係づくりがなされていて、生徒の表情が以前にも増して明るくなっているとの評価と、一層魅力のある学校、生徒がやりたいことに打ち込める学校を目指してほしいとのお言葉をいただきました。

ご声援をお願いします!

7日に行われた全県秋季相撲大会に続き、今週末(14日~16日)は、郡市新人総体が行われます。ご協力とご声援をお願いいたします。(16日は野球のみ。サッカーは21日に実施。)